

6月28日(木)

子どもと障害者の

医療費助成の拡充を!! みんなのパレード 2018

11:00~11:45 (10:30 開場)

医療費助成の拡充を求めるつどい <開港記念会館・第9会議室>

11:00 開会

主催者あいさつ (子ども連絡会・田中由美子新婦人会長)

11:10 参加者からの発言

11:40 閉会あいさつ (障害者連絡会・清水健男障神奈連会長)

11:45 閉会

12:00~12:30

みんなのパレード 2018 ★開港記念会館~横浜公園手前~県庁前

13:00~14:00 <日本大通り7ビル801号室> ※代表参加

神奈川県への要請と懇談 (子ども家庭課・障害福祉課)

神奈川県の各自治体の平成30年度の小児医療費助成制度の調査では、対象年齢(通院)を中学校卒業以上が24市町村で、小学校卒業までが9市町村です。横浜市と川崎市は小学校卒業まで拡充されましたが、上限500円の窓口負担が導入されています。また、重度障害者医療費助成制度では、17市町村で65歳以上の新規適用除外、11市町村で所得制限を行っています。このように市町村の医療費助成制度は、住む場所によって違うという矛盾が放置されたままです。

小児医療費助成では、関東7都県中5都県の市町村すべてが中学校卒業以上であり、神奈川県は他県と比べて低い水準となっています。医療費助成制度が低い要因は、神奈川県の小児・ひとり親・重度障害者医療費助成制度の基準が低く、さらに一部負担金と所得制限、重度障害者の年齢制限を導入していることがあげられます。

財政力指数3位の神奈川県なら助成制度の拡充ができるはずですが、県に対して、医療費助成の拡充を求める声をあげていきましょう。

**神奈川県子どもの医療費無料化を求める連絡会
これからの障害者と患者の福祉・医療を考える連絡会
神奈川県社会保障推進協議会**

神奈川県への医療費助成制度の拡充を求める要望事項

6月28日（木）13:00 から行う神奈川県への要請と懇談に向けての要望事項です。

<医療費助成制度全般について>

- 1、県として平成30年度以降も市町村に対する補助交付を続けること。
- 2、県として、市町村格差が埋まる方向での改善策を立て、市町村への援助をはかること。
- 3、県が医療費助成制度に導入した「受診1回200円、入院1日100円」を見直すこと。

<重度障害者医療費助成制度について>

- 1、65歳を過ぎて重度化した方を助成の対象とすること。
- 2、所得制限を撤廃すること。
- 3、精神障害者1級（通院）だけでなく、2級まで入院・通院とも助成対象を拡大すること。

<小児医療費助成制度について>

- 1、所得制限を撤廃すること。
- 2、県下24市町村で助成対象を中学校卒業までを対象としていることから、県として小学校就学前までから助成対象年齢を引き上げること。

